

平成 28 年度倫理小委員会の活動成果

九州本部の技術者倫理に関する活動は、統括本部や他地域本部に比べ、状況に応じた散発的な活動になっていましたが、平成 28 年度より倫理小委員会として組織的かつ本格的な活動を開始することになりました。委員は、主に九州管内の技術者倫理教育に携わった経験者が任命され、9 名での始動となりました。主な活動は、次の内容となっています。

①統括本部および他地域本部の実態調査

倫理問題で先行する他組織の活動実態の調査を通じて、九州独自の委員会設立背景を考慮した活動方針を策定しました。

②経験者からの倫理報告

講演経験や授業を委託されている委員から、長年の技術者倫理教育における実社会での有効性、グローバルな視点および学習プロセスの重要性などの報告がありました。この多様な観点での内容と工夫、課題や問題点について整理・分析した情報を提示してもらい、議論を通じて知見を共有しました。

③全国大会参加報告

意見交換会や分科会講演での概要を説明した後、九州本部から持ち込んだ「プロフェッションと技術者倫理」について踏み込んだ議論を行いました。技術士アイデンティティの強化から業務独占への移行を探るというテーマに足し、更新制度の確立、自浄・自立機能の整備、AI 倫理、暗黙知を知識・技術アーキテクチャの基礎とするシステムなどが語られました。

④既往知見の研究と理解

形ある成果の導出を目的に、技術者のプロフェッションを確立するために最も重要な基本である「技術者倫理綱領」を題材に選び、9名の委員が10条（項目）を分担し、その内容の共有化と解釈の統一化を図るとともに、既往知見の研究と理解に当てました。

以上の成果は、「平成 28 年度倫理小委員会活動報告」として簡易製本（A4 版 143 頁）し、委員に配布するとともに九州本部にも納めました。

興味をお持ちの方には、九州本部事務局での閲覧が可能となっています。

平成 28 年度 倫理小委員会活動報告書

Activity report of the 2016 Ethics Subcommittee



公益社団法人 日本技術士会

九州本部 研修委員会

The Institution of Professional Engineers, Japan
Kyushu headquarters training Committee